

動物実験に関する検証結果報告書

国立大学法人 東京農工大学



動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2021年3月

2021年3月4日

国立大学法人 東京農工大学
学長 千葉 一裕 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会
理事長 三好 一郎



対象機関：国立大学法人 東京農工大学
申請年月日：2020年7月28日
訪問調査年月日：2020年12月18日
調査員：三浦竜一
 畔上二郎
 小野悦郎

検証の総評

1874年創立された東京農工大学は、現在農学部及び工学部と、関連する大学院等を有する大学である。府中と小金井のキャンパスにそれぞれの学部がありともに動物実験を実施する。文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という。）」と環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」に概ね適合した「東京農工大学動物実験等に関する規程（以下「規程」という。）」に従って、適切な動物実験と飼養保管が実施できるよう動物実験小委員会を中心とした動物実験の実施体制と実験動物の飼養保管体制を整備している。一方で、規程等の構成と内容、委員会活動、審査や承認にかかわる記録、施設の整備維持管理等で複数の不備や不足が認められた。基本指針及び飼養保管基準に従った具体的な機関管理の活動と状況に関する情報収集に不足があり、それに起因して大学等の研究機関で講じられている標準的な対応や内容が一部欠落している。よって、積極的な情報収集に努めるとともに意欲的な委員会活動を通じて、より優れた機関管理が全学的に浸透されるよう検討されたい。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。<input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>「規程」を定め、基本指針及び飼養保管基準に概ね適合しているが、機関管理の根幹である学長の責務を明確に規定しているとは言い難い。よって、機関内規程について、「基本指針に適合する機関内規程を定めている。」との自己点検・評価の結果であるが、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。<input checked="" type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>別の規則「国立大学法人東京農工大学研究倫理委員会細則」の下で動物実験小委員会を設置しその構成要件と役割を規定しているが、一部の内容が規程と重複している。また、規程のほかに、「東京農工大学動物実験指針」が制定されているが、規程との位置づけが不明であった。「国立大学法人動物実験施設協議会（以下「国動協」という。）」で公開している機関内規程の雛形と再度比較し、規程及びその他の規則の整理と、学長の責務を明確に反映させた規程の改正を検討されたい。</p>

2. 動物実験委員会

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。<input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>「国立大学法人東京農工大学研究倫理委員会細則」に基づき動物実験小委員会を設置し、基本指針にある3要件それぞれに該当する9名の委員が選任されている。よって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>

3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
4) 改善に向けた意見 動物実験計画書の審査方法等の委員会活動を具体的に規定する運営内規等を制定されたい。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験計画書をはじめとした各種様式には、必要とする項目が網羅されている。よって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
4) 改善に向けた意見 特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 病原体感染動物実験や遺伝子組換え動物使用実験等が行われ、それぞれを対象とした規則の制定と、委員会（特定生物安全管理小委員会）の設置が認められた。また、動物実験小委員会

と特定生物安全管理小委員会とを兼任する委員により情報の共有が行われている。よって、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

44か所の飼養保管施設に、それぞれの実験動物管理者が選任され、動物の逸走時対応及び災害時対応も記載された飼養保管手順書が施設ごとに備えている。よって、実験動物の飼養保管体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

施設の改修や動物種の変更・追加のタイミングで、それぞれの飼養保管手順書を見直して更新されたい。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

農学部と工学部がそれぞれ府中キャンパスと小金井キャンパスに分かれているが、動物実験に関する管理体制は一元化されている。ほぼすべての飼養保管施設は研究室ごとに管理され、大規模な共同利用施設はない。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 定期的に動物実験委員会が開催され、その議事録が残されている。2019年度は142件の動物実験計画書を書面審査により審査を行っているが、その審査と判定の過程を示す記録が確認できなかった。よって、動物実験委員会の活動について、「基本指針に適合し、適正に機能している。」との自己点検・評価の結果であるが、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。
3) 検証の結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 多数の飼養保管施設に対する飼養保管基準の遵守に関する指導等も含め、動物実験委員会の役割に従った活動が行われたことがわかるよう、適切に記録し保存されたい。

2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験結果報告書は90%以上の提出率であったが、複数の動物実験計画書や動物実験自己点検票、動物実験結果報告書に記載漏れや誤りが残されており、適切な改善の指導が一部徹底されていない。よって、動物実験の実施状況について、「基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。」との自己点検・評価の結果であるが、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。
3) 検証の結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 提出書類の確認、委員会の審査・判定・報告、学長の承認・把握等の機関管理にかかわる一連の過程が確実にられるよう、指導を徹底されたい。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 遺伝子組換え動物を用いた動物実験や病原体を用いた感染動物実験等が行われていた。視察した動物室ではさまざまなタイプの表示とネズミ返しの混在や、動物室専用の作業衣の不備が一部で認められた。よって、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、「基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。」との自己点検・評価の結果であるが、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。
3) 検証の結果 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。
4) 改善に向けた意見 法令にかかわる表示等については、関連委員会と共同で全学的に確認し必要に応じて改善指導を行うよう求めたい。また、動物実験にかかわる事故等の共有ができるよう、安全衛生管理部門との情報共有が望ましい。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 大型動物から小型動物まで各種動物が概ね良好な状態で飼養保管されている。長期にわたっ

て飼育する小型動物では、定期的な微生物モニタリングが行われている。特定外来生物の飼養保管も法令に対応した適切な措置が執られている。よって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

視察した複数の施設で窓等の隙間から自然光が漏れ遮光が不完全で、明暗管理が不適切な状態にあった。同様に、整理整頓と清掃が不十分で衛生的に改善の余地を残す施設もいくつか認められた。よって、施設の維持管理の状況について「基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。」との自己点検・評価の結果であるが、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。

3) 検証の結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

設置時に委員会による現場確認が行われて以降、飼養保管施設の再視察は行われていないことから、適正な飼養保管環境が維持されるよう、定期的な巡視や実験動物管理者を介した指導を実施されたい。可能であれば、小型動物の動物室を集約させ集中管理できるよう長期計画を立案し対応することが望ましい。

6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験実施者に対して必要な教育訓練を実施し、開催日や参加者等の記録が保管されている。実験動物の取り扱いは、市販されているDVD教材を用いて動物種ごとに教育が行われている。よって、教育訓練について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>人獣共通感染症の知識等、教育内容に一部不足が見られたので、日本実験動物学会が主催する実験動物管理者研修会等の外部の各種教育講習会への参加や、外部の専門家を招聘した講演等により、情報を広く収集し教育内容を随時更新されたい。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験自己点検票と実験動物飼養保管状況の自己点検票が提出されている。各種資料とあわせて自己点検・評価を実施している。また、自己点検・評価報告を含め必要な情報がHP上で公開されている。よって、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>自己点検・評価報告書には詳細な状況把握と分析、改善に向けた課題の記載を求めたい。ま</p>

た、外部検証報告書の公開とともに、年度ごとの自己点検・評価の実施と必要な情報の公開・更新を強く求めたい。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

「国動協」には工学部にある小規模な共同利用施設で入会している。「国動協」が発信する有益な情報を大学全体で共有し活用されるよう努められたい。